

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					4520	美術館展覧会等活動推進事業					教育委員会		美術館	
1 事業概要		中事業番号		1217									所属コード		546500	
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）				
大綱（取組）	Ⅱ「交流・観光の未来」	4.a								○	・優れた美術品の鑑賞機会の拡充・市民の美術に関する学習機会の拡充・展覧会の開催（常設展4期、企画展5～6回）・教育普及事業（美術講座等の開催、美術文化の情報提供）・美術品の購入	優れた美術品に接する場と機会の提供により、市民の文化的生活の充実と向上を図る。				
施策	2 国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまち															

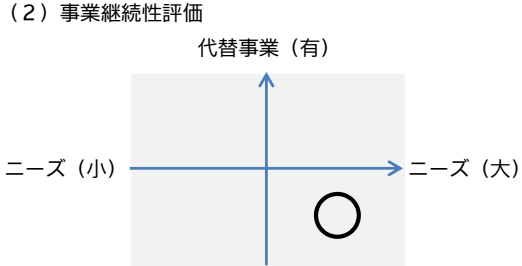
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
好調な経済状況、高齢化社会の進行、自由時間の増大などの社会的要因を背景として、あらゆる年齢層にわたり芸術文化の鑑賞や創作活動に参加するなど、物質的豊かさ以外に精神的な豊かさを培い、心にうるおいを求める活動を行う場が求められていた。		市民の文化・芸術に対する意識の高まりを受け、様々な学習機会の場を提供することが求められている。また、美術館が地域の核として文化の発信を牽引する必要がある。		地域の文化・芸術活動を取り巻く環境が複雑化し、市民のニーズが多様化する中で、美術館が果たす役割はますます大きくなっていくものと予想される。		来館者へのアンケート調査等によると事業実施に関する要望は多種多様なものがある。それらを分析し、郡山市立美術館協議会等からの提言なども踏まえて事業を展開する。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	郡山市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	企画展の数	件	5	5	5	5	5	5	5		5		5	5		
活動指標②	教育普及活動の実施回数	回	48	43	48	51	48	53	48		48		48	48		
活動指標③																
成果指標①	企画展の観覧者数	人	50,000	55,905	50,000	47,373	50,000	83,550	50,000		50,000		50,000	50,000	50,000	50,000
成果指標②	常設展の観覧者数	人	20,000	31,383	20,000	27,877	20,000	43,365	20,000		20,000		20,000	20,000	20,000	20,000
成果指標③	教育普及事業の参加者数	人	20,000	20,142	20,000	26,630	20,000	21,145	20,000		20,000		20,000	20,000	20,000	20,000
単位コスト（総コストから算出）	観覧者及び参加者1人あたりのコスト	千円		1.3		1.3		0.76	1.3		1.3		1.3	1.3		
単位コスト（所要一般財源から算出）	観覧者及び参加者1人あたりのコスト	千円		0.8		0.8		0.56	1.1		1.1		1.1	1.1		
事業費		千円		71,319		72,972		56,891	67,655		70,000		80,000	70,000		
人件費		千円		65,915		59,470		54,968	58,443		58,443		58,443	58,443		
歳出計（総事業費）		千円		137,234		132,442		111,859	126,098		128,443		138,443	128,443		
国・県支出金		千円		0		0		0	0		0		0	0		
市債		千円		0		0		0	0		0		0	0		
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		25,116		25,700		13,364	25,930		20,000		20,000	20,000		
その他		千円		23,141		23,852		14,904	0		0		0	0		
一般財源等		千円		88,977		82,890		83,591	100,168		108,443		118,443	108,443		
歳入計		千円		137,234		132,442		111,859	126,098		128,443		138,443	128,443		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
活動指標①について、計画通り5件の企画展を開催した。 活動指標②について、概ね計画通り教育普及事業を実施した。		企画展は計画値を大幅に上回った。これは市制施行100周年記念事業である「印象派」展の観覧者数が、開館以来最高の63,441人を記録したことが大きな要因である。常設展も、「印象派」展の大幅な来館者の影響と、工夫を凝らした特集展示を積極的に行ったことで、観覧者数は計画値を大幅に上回った。 教育普及事業の参加者数は計画値を若干上回った。学校と連携した鑑賞授業等の実施や、講演会、美術講座、ギャラリートーク、映画会、コンサート、ワークショップ等など、市民のニーズに合わせた多彩な事業を展開した成果といえる。		【事業費】 実行委員会形式の展覧会において、当該収益に係る負担金の戻入15,000千円を控除したことから表記の結果となった。  【人件費】 人件費については、前年度より減少したが、これは職員の構成によるものであり、業務量においてはほぼ例年通りであると推測される。	

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



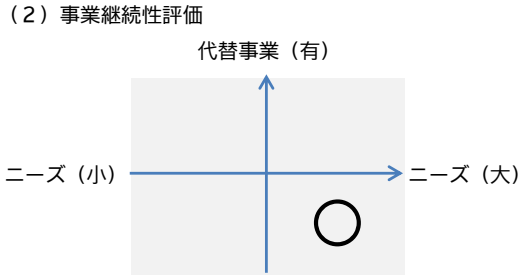
継続	一次評価コメント
令和6年度は、優れた美術品との出会いを体感できる展覧会と各種教育普及事業を計画通り実施することができた。 次年度以降も文化芸術活動推進のため、海外からの企画展やコレクションの新たな魅力を紹介する常設展の開催、各種教育普及事業を計画的に行っていく。また、価値観の多様化に対応したDX推進のため、動画配信やSNSを活用した情報発信を図る。 また、歴史情報博物館の開館を機に、MLA連携についても協力連携のもと展開していく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
		○			○

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
令和6年度は市制施行100周年記念事業の企画展において観覧者数が大幅に増加し、その相乗効果もあり常設展の観覧者も増加した。また、教育普及活動についても広い範囲のテーマを取り上げて実施した結果、計画を上回る実績となり、本事業をとおして、集客による地域の活性化及び文化的生活の充実を図ることができた。 MLA連携については、図書館と連携し、美術館の企画展テーマと関連する絵本の特設コーナーを図書館内に設けるなど、連携の強化が図られている。 今後においても、魅力的で質の高い展覧会の開催と教育普及活動をバランスよく行い、美術を中心にした文化価値の継承・発展に資するため継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画